



もくじ

- 1～3 ちょっと早めの秋祭り
- 4 重症心身障害児(者)を守る全国大会
大規模改修のお知らせ
- 5 自衛消防審査会
- 6 日本重症心身障害学会学術集会
- 7 マイ・ワールド
- 8 人事異動



ちょっと早めの秋祭り

秋祭り実行委員 生活支援科主査 加藤一久

今年の天候は7月は猛暑、梅雨が明けると不安定な天気が続いていたため、9月の秋祭りはどうなるのかなと心配していました。しかし、秋祭り当日は、天気恵まれ暑いくらいで、ずっと外にいた私の鼻は真っ赤になってしまいました！

さて、今年のちょっと早めの秋祭りの報告をさせていただきます。カラフルなウェルカムアーチをくぐると、先ず一番に目に付くのが「ふれあい動物園」でした。たくさんの動物たちが来ていましたが、一番人気は100羽もいたヒヨコたちで、たくさんの地域のちびっ子たちが手に乗せてふわふわした感触を楽しんでいました。



ウェルカムアーチで華やかにお出迎え



ふれあい動物園のヒヨコとちびっ子



完売続出のフードショップ

受付の隣では「フードショップ」が営業していましたが、暑かったため、飲み物は一番に完売してしまいました。

その右側では今回初登場の〔富良野メロンパン〕のキッチンカーが販売していました。メロンパンは焼きたてのため、こちらでも大人気でした。ただ、1回で焼ける数が少なかったため、なかなか買えなくてご不便をおかけしました。申し訳ありませんでした。



富良野メロンパンのキッチンカー

受付を通して、センターの中に入ると、エントランスホールは、〔ライブステージ〕で盛り上がっていました。5つの団体が、開始からエンディングまで普段の練習の成果を発揮していました。センターの合唱部から始まり、スティールパン、エイサー、和太鼓、バンドと続き、最後には「島人の宝」をみんなで歌い、一つになって終了となりました。



合唱部はトランペットも加わり多彩に



ギターとスティールパンのハッピークローバー



みんなでコラボレーション 感動のエンディング



狭山グリーン太鼓は、大・大・大迫力！！



エイサーの小平ゆいま〜るは、様々な年齢の人が…

外来の方では、〔ROLLING YAMATO!!〕がゲームコーナーを営業していました。お菓子、アームリング、光るブレスレットなどゲームの結果次第でお宝をゲットできるということで、皆さんの熱気が伝わってきました。



ROLLING YAMATOのミニボウリング

長い廊下の途中では、〔季節の壁画展〕があり、病棟の制作活動で作った壁画装飾やリハビリのグループ訓練で作成した絵が展示されていました。本当は大きな作品ですが、スペースの都合で小さくコピーしていました。



季節の壁画展 夏

その隣には、重症心身障害看護師についての展示ブースがありました。



協会認定看護師の展示

プレイルームは、〔2017年宇宙の旅〕というアトラクション会場でした。未来の宇宙旅行を体験するののように、地球から宇宙に飛び出し、いろいろな体験をして帰還するという内容



季節の壁画展 春

でした。真っ暗な宇宙空間を存分に体験できたと思います。こちらも行列ができてしまい、長い時間お待ちしなければならなかったことをお詫び申し上げます。



2017年宇宙の旅 ここはNASA?

この写真はよい思い出として記念になる、との感想をいただいている大好評の企画でした。

廊下の一番奥は、〔ナゾときゲーム〕のコーナーでした。今年のテーマはバイキングで、ゲームの台紙をもらい、センター内の数箇所にある謎解きをしてシールを集めると一枚の絵になって、最後の到着点で記念写真を撮るという内容



ナゾときゲームのジャックスパロウ

2階の理学療法室には、〔マッサージサロン〕がありました。静かなお部屋で手にクリームを塗りトリートメントを施してくれます。密かに楽しみにしている方もいらっしゃるようで、好みの方を指名する方も中にはいらっしゃったということでした。

楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。この思い出を胸に、また1年後、皆さんとお会いできることを楽しみにしています。今年もたくさんのボランティアさんに協力していただきました。ハッピークローバー（スティールパン）さん、狭山グリーン太鼓さん、小平ゆいま〜るエイサーさん、チンドン! あづまやさん、水野豪さん（バンド）、ボディショップの皆さん、おもちゃ図書館の皆さん、京王バスの運転士さん、学生さん…ありがとうございました。



ニューフェイス ちんどんあづまや+1

第54回 重症心身障害児(者)を守る全国大会

看護部長 桑原光代

今年の全国大会は、6月10日・11日、石川県金沢市で開催されました。当センターからは、柳瀬院長、獅子野事務長と私の3人で参加致しました。全国からは、約1,000名の会員の皆様が参加者されました。1日目は、行政説明として厚労省障害福祉課上井室長補佐より「障害保険福祉施策の動向」についての説明がありました。その後、国立施設・重症児部会・在宅部会・母親部会の4部会に分かれ各テーマに沿って話し合いがなされました。私は、母親部会に参加しました。守る会の宇佐美理事より、守る会の活動の経緯などの説明の後、父親からのご意見も含め活発な話し合いでした。

2日目は、「みんなで語ろう」と式典でした。「みんなで語ろう」では、全国から参加された皆様により、親の高齢化や守る会の今後の活動のあり方などの課題について意見交換がなされました。「式典」では「要望書」を確認し、全国大会は盛大に終了致しました。今回、この全国大会に参加させていただき、ご家族のいろいろなご意見を伺え貴重な2日間となりました。



会場のホテル直結の金沢駅

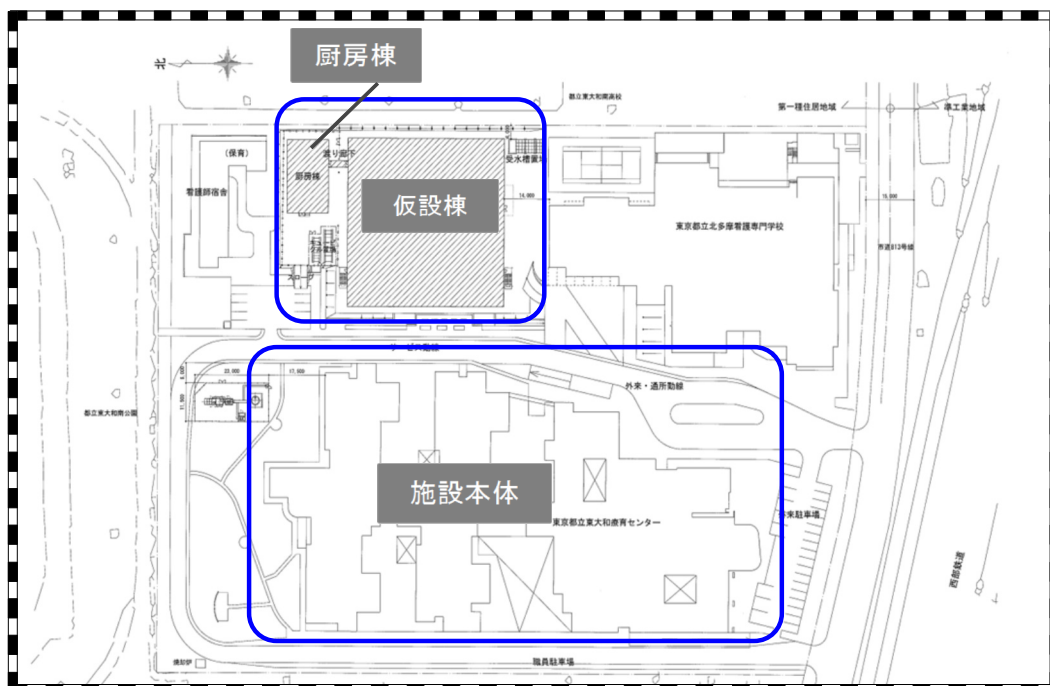


「みんなで語ろう」会場

いよいよ仮設棟設置工事が始まりました

東大和療育センター大規模改修のお知らせ

下記期間で工事を行う予定です。ご理解、ご協力をお願い致します。



仮設棟設置工事
平成29年10
月～
平成30年9月

施設本体改修工事
平成30年11
月～
平成32年10月

平成29年度自衛消防審査会

消防は消防署だけが行うものではなかった

生活支援科 牛久祥穂

9月5日(火)野山北公園運動場にて自衛消防審査会が開催されました。この審査会は、北多摩西部消防署所轄内の様々な団体が組織している自衛消防隊が一同に会して、お互いの訓練を披露し、自衛消防技術を向上させることを目的としています。

当日は26団体が参加し、地震・火災発生時の初期対応、消防署への通報、消火器・屋内消火栓による初期消火など一連の自衛消防の技を競い合いました。当センターは2名チームで行う「2号消火栓の部」に出場を果たすため、北多摩消防署ご指導のもと1ヶ月にわたり訓練を行いました。

はじめは台本通りに体を動かすことで精一杯でしたが、訓練を重ねるごとに、端的にわかりやすく状況や指示を伝える重要性を頭と体で理解して動けるようになっていきました。それでも不安とプレッシャーからは逃れられず、訓練の夢にうなされる日々。そんな気持ちを支えてくれたのは、チームメイトの(指揮者)宇都さんと(予備員)荻原さんです。明るい笑顔とユーモアで励まし合い、最後まで前向きな気持ちで訓練に向き合うことができました。

審査会当日は、予想外のアクシデントに見舞われ本領発揮できずに終わったチームも多くあった中、私たちは緊張をも味方にして、これまでの訓練の成果を存分に発揮することができたと思います。放水を邪魔する雨風もなく天候にも恵まれました。残念ながら入賞には至らず残念な結果に終わりましたが、無事に終わることができた安堵感と、思いのほか心に強く残った悔しさは、どんな賞にも代え難い頑張った証だと感じています。この場をお借りして、サポートしてくださった全ての方々にお礼申し上げます。

これまで「消防とは消防署が行うもの」と、どこか人任せに考えていたところがありました。しかし、被害を最小限に抑えるためには消防隊員が到着するまでの初期対応が大きなポイントになることを、身をもって学ぶことができました。今後も、利用者の安全と安心を守るため、職員一丸となって努力していきたいと思ひます。



参加者は緊張の面持ち



支え合ったチームメイト



熱い声援を送っていただきました

第43回 日本重症心身障害学会学術集会

熱気と緊張感に包まれました

看護科 美濃禎久・河村京子
生活支援科 難波正弘

9月29日(金)・30日(土)、杜の都宮城県仙台市の仙台国際センターで開催された「第43回日本重症心身障害学会学術集会」に参加致しました。今回のテーマは「重症心身障害児者のいのちを育むところと技—うまれてきてよかったと思える社会作り」です。

全部で303演題あるなかで、当センターからは、口演3題、ポスターセッション2題、計4題を発表しました。発表された皆様は、落ち着き凜とした態度で臨まれ、質問にもわかりやすく的確に対応している姿が印象的でした。

重症心身障害児者に関わる人達は医療職、福祉職、教職、と幅広く多岐に渡ります。それぞれ受けてきた教育や専門とする分野は異なりますが、生命を守る医療の視点と生活の豊かさを創る福祉、教職の視点が融合し、同じ目標に向かっていく多職種連携が重要であることをこの学会で痛感致しました。

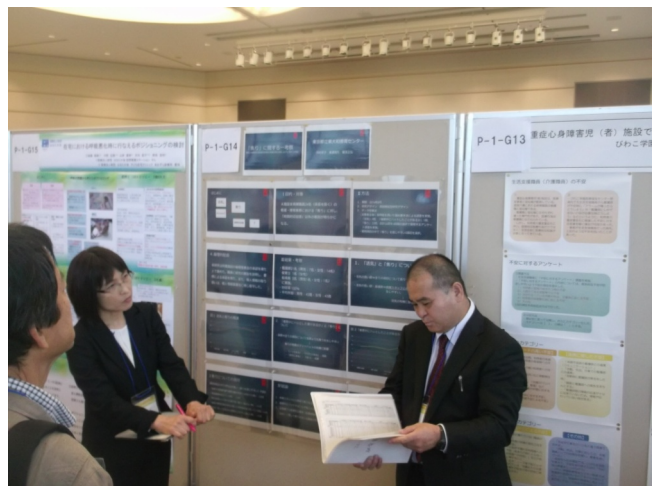
今回、ポスター発表を体験して参りましたが、実に興味深い演題が多く、ポスター会場を何度も廻り歩いて、聞いてみたい演題をチェック！周囲を見渡すと、写真付メールでスライドを撮ったり、自分のエリアの前で真剣にメンバー同士が発表の打ち合わせをしたりしていました。我々も緊張感ありありです(笑)。

発表が始まると、ホールの広さに負けず劣らずの人の波で、熱気に溢れていました。実際に体験して感じたことは、演者のすぐ目の前に聴衆がいるので、お互いの表情を見ながら、身構えずに聞きたいことや伝えたいことを自由にキャッチボールできる雰囲気がある、ということでした。

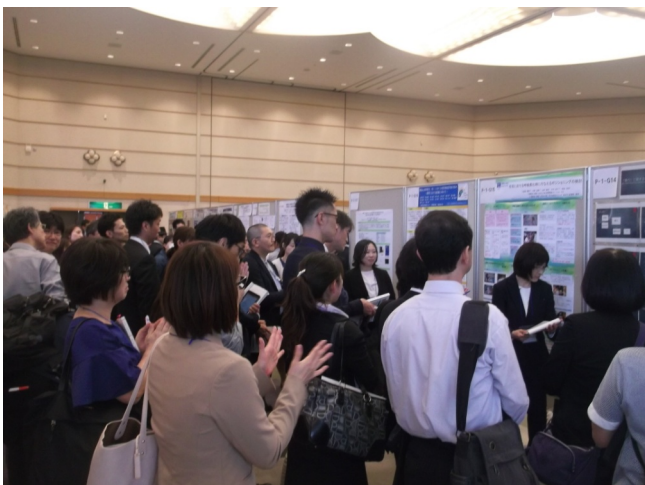
見てください！！なんと我々の前にも人だかりが・・・大盛況で終えることができました。何だか発表者より私の方が緊張してしまいましたが…(苦笑)。仙台の爽やかな空気と美味しい牛タンの味、そして皆さんの熱気を肌で感じることができ、とても有意義で貴重な経験をさせていただきました。



私がお案内致します



緊張感ありありです



大盛況！ 大盛況！

先日高校の同窓会に出席しました。「還暦記念同窓会」と銘打ち、改めてこの歳まで無事に来られたことに感謝しつつ再会を楽しみました。

センターの利用者も特に長期の方は歳を重ね、加齢に伴う問題が増えています。ある講演会で、認知症になりにくい職業として、芸術家・農家・政治家があげられていました。いずれも、脳の色々な部分を使う必要のある仕事です。センターのスタッフが利用者に様々な形の刺激をしていることは、脳の活性化を通して利用者の認知機能の低下予防、更には老化予防につながっているのかもしれませんが。高校時代は合唱部に入っていました。センターに合唱部ができたのを機に参加して楽しんでいます。秋祭りでも披露しましたが、合唱を通じて利用者の皆さんに喜んでもらえて、さらに機能維持に少しでも寄与できるといいと思います。また、指揮をしながら合唱することで脳が活性化されて、自身の老化予防になると期待しています…こっちがメイン？

(荒木克仁)



合唱しながらの
指揮で脳が活性化

思うこと 感じること 伝えたいこと

My World

Vol.5

互助会企画旅行で、メットライフドーム（旧西武ドーム）に野球観戦に行きました。何年か前の東京ドーム企画以来2回目の参加です。球場の雰囲気そして応援の一体感、プロ野球選手の華麗なプレイ、ファンでなくても見入ってしまいました。お弁当は美味しく量も適量、そしてなにより飲み放題、やっぱり野球は球場で観戦するのが一番ですね。



ねらうは、
ストライクのみ

そして驚いたことに興奮冷めやらぬ試合後のグラウンドを解放し、“花の金曜日”はサラリーマンナイト！という男女問わず社会人の方を対象にした野球体験イベントがあったのです。しかも今回は、マウンドから一球だけピッチングできるというもの。こんなチャンスは滅多にないと思い、私一人だけ残り、30分以上並びました。

自分が投げた球は、キャッチャーまで届きはしましたが、残念ながらボールで、納得のいく内容ではありませんでした。常日頃、準備がどれだけ大切かと話しているのに……。この時だけは童心に帰って、大好きな野球を楽しみました。来年もこの企画があれば、準備をしっかりとって納得のいく投球をしたいと思います。（元橋功典）

編集後記

季節はあっという間に夏から秋ですが、冬のような寒さからスタート。食欲の秋が始まります。様々な味覚が胃袋を刺激します。

やっぱりケーキが好きな私は、特におすすめのお店が、東京の京橋にあるケーキ屋さん。特にイトインのケーキ(持ち帰り不可)がおすすめ。今まで、食べたことのない口どけで、至福の時間が口いっぱい広がります。ぜひ、探して行って見て下さい。(T・S)

仕事でも、プライベートでもいっぱいいっぱいになったり、行き詰ったりした時に皆さんはどんなことをしていますか? 私は最近、「宇宙」を意識するようになっています……といっても宇宙飛行士ではありませんので、プラネタリウムに行きます、一人で…。自分がいかに小さい存在かを再確認するためです。無限に広くて、どこが果てもわからない宇宙から見たら、どんな問題だって「小さい、小さい」って思えてきて、「どうってことないぜー」ってなるんです。それに、星空ってロマンチックですよ。古代人は、夜な夜な星空を見上げて、星座を創造したというんですから、すごいですよね。ロマンを感じます。ところで、T・Sさんの編集後記を読んでいたら、秋のスイーツの代表格「モンブラン」が食べたくなってきました。あの上品な甘さは、栗と砂糖の出会いが編んだ協奏曲ともいえるべきもの、オマージュものですね。マロンにもロマンを感じます。(あっしー)

お知らせ

◎そよ風第89号でお知らせ致しました「センター行事」の日程の一部が以下の通りに変更になりました。

通所成人式

1月19日(金)⇒1月11日(木)

◎今号第90号より、そよ風紙面のリニューアルを始めました。ご意見、ご感想などをお寄せいただき、さらなるリニューアルを進めていきたいと考えています。ご協力のほど、宜しく願い申し上げます。



東大和療育センターホームページ

東大和療育センター

検索

そよ風 第90号

編集 院内報そよ風編集委員会
発行日 平成29年10月15日
発行 東京都立東大和療育センター
東京都東大和市桜が丘3-44-10
Tel. 042-567-0222